

都中英研だより

第 69 号

東京都中学校英語教育研究会
会 長 重 松 靖
(国分寺市立第二中学校長)

平成27年度 第55回 大都市公立中学校英語教育研究会 連絡協議会東京大会

10月9日(金)に中野サンプラザにて東京大会が開かれ、政令指定都市 21 都市のうち 15 都市が参加いたしました。本大会は、政令都市の公立中学校における英語指導の先進的な実践について学び合い、グローバル人材の育成に向けた英語教育の改善方策を探ることが趣旨となっております。

本年度の研修主題は、「グローバル人材の育成に向けた英語教育の改善 ―指導法の実践を通して―」を設定しました。

午前中には、本協議会の役割や再構築についての提案に対して活発な論議があり、その後、各都市からの活動報告では有意義な情報交換ができました。それに引き続き、開催担当である東京都からの「東京方式少人数・習熟度別指導ガイドライン(中学校 英語)」についての報告があり、それに関して分科会協議を行いました。

午後には、神奈川大学外国語学部英語英文学科准教授 久保野 雅史先生を講師として、「四技能を



支える文法力の育成と評価 ―教員の音声表現力が授業を変える―という演題で講演会がありました。本大会の研究主題であるグローバル人材の育成のために、どのような視点にたつて英語教育を進めればよいかについて、具体的で実践的なとても示唆に富んだご助言をいただくことができました。

盛りだくさんな内容で忙しい一日となりましたが、全国から訪れた各都市の代表者の方々は満足を得られた模様で各都市へお帰りになりました。都中英研役員一同、主催者の責任をなし得ることができました。

■日 程

(1)開会式

- ① 開会 ② 主催者挨拶 ③ 来賓紹介・挨拶
④ 閉式 *諸連絡

(2)情報交換(活動報告等)

- ① 本協議会の役割の再構築について(提案・協議)
② 各都市の活動報告及び情報提供(各都市7分)
③ 質疑応答

(3)研究協議(実践報告等)

- ①提案発表及び実践報告
東京都教育庁指導部義務教育指導課
中谷 愛 統括指導主事
品川区立荏原第六中学校 岡崎 伸一 指導教諭
②各都市の実践報告及び協議(分科会)

(4)講 演

- 講師 久保野 雅史 先生
神奈川大学外国語学部英語英文学科准教授

(5)閉会式

- ① 開式
② 次期開催都市代表挨拶(横浜市)
③ 閉式 *諸連絡

■参加該当都市

札幌市、仙台市、新潟市、千葉市、さいたま市、川崎市、横浜市、相模原市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市、東京都

『実践的な授業を通じた授業力・指導力の向上』

八王子市立七国中学校長 堀内 雄士
(八王子市中学校教育研究会英語部長)

八王子市では中教研・英語科の研究主題を「実践的な授業を通じた授業力・指導力の向上」とし、研究授業を中心に授業力の向上を目指している。

市立中学校は38校あり、英語科教員は100名以上である。組織が大きいことを有効に活用しながら、研究主題の実現をめざし、全体的な研修会と地区ごとのブロックに分かれての研修会を実施している。

1 研修形態

授業研究・授業参観・研究協議を各学期に振り分けての実施を基本としており、以下のような研修会を実施している。

(1) 1学期

・師範授業、若手教員自身による研究授業の参観・協議

本市校長会では若手教員の育成のため、校長会として2・3年次研修を推進している。「学習指導力」向上を目的として教科担当校長を決め、2、3年次研修を年間2回実施している。英語科として1学期は経験豊富な教員の授業を参観したり、若手教員による授業の研究協議を行って若手教員の授業に参考になるような研修会を開催している。

(2) 夏季休業中

・英語力パワーアップ研修会

「英語力パワーアップ研修」と称し、八王子市教育委員会と中教研・英語科が共催でE L E Cの講師をお招きして開催している。

今年度の研修会は参加者を2つのグループに分け、それぞれに1名の講師がついた。内容は Warm-up Activities, Content Language Integrated Learning (CLIL), Task-Based Learning (TBL), Total Physical Response Approach (TPR) についてワークショップ形式で実際に活動しながら学ぶものであった。

様々な教授法について生徒の立場になって学ぶことにより、自校での指導の活用を考えて、実際に授業に活かせるものであった。



(英語力パワーアップ研修会)

(3) 2学期

・若手教員による研究授業・参観・協議

2学期は若手教員の研究授業を主に実施している。研究協議では市内の英語科の校長・副校長の指導・助言と同時に、英語指導について指導の工夫や悩んでいることなどの情報交換を学校を超えて行っている。活発に意見交換などを行い、参考になったという声が多い。若手教員の中から、さらに研究授業での指導をお願いしたいという要望があり、3学期も研究授業を実施した。

・中教研一斉部会

全市を4つのブロックに分け、研究授業と研究協議を行っている。この形態は今年度で5年目となる。各ブロックごとの研究授業では、指導・助言者として大学教授、他地区校長、都教育庁の指導主事等をお願いし、アドバイスをいただいている。それぞれの授業は指導方法を工夫しており、生徒が生き生きと授業を受けているものであった。講師の先生方からは英語授業について貴重な指導・助言をいただいた。また、この形態によってブロックごとに教員が集まるので、学校間の情報交換もでき教員には好評である。

2 八王子市の英語研修について

八王子市では上記のように中教研・英語部と校長会が中心に研修会を実施しているが、今年度は八王子市教育委員会による「習熟度別指導研究会」を実施している。「東京方式 習熟度別指導ガイドライン」を確認し、習熟度別の研究授業を開催して、実際に実施する上で参考になるものであった。

英語科教員の数が多いという実態を生かし、多くの英語科教員の授業に触れる機会を計画的に増やすことで、本市の英語科指導の向上が図れると考える。今後の英語教育改革では英語によるコミュニケーション能力の育成が中心に求められている。本市では今後も研究授業を軸に、コミュニケーション能力の育成のための英語教育について様々な研究や情報交換を行っていききたい。

事業部報告

○TEACHERS' SUMMUR WORKSHOP 2015

日時：平成27年8月21日(金)

会場：千代田区立九段中等教育学校

講師：黒澤 敬教諭(中野区立第四中学校)

高杉達也教諭(千代田区立九段中等教育学校)

田島久土主任教諭(大田区立鞆谷中学校)

内容：午前の部 黒澤先生は、東京都教育研究員として学んだことも含めて、ペアワークを中心に、総合的な指導の工夫について発表した。高杉先生は、Active Learning について、「何を、どのように、なぜ」指導するのかということを発表した。どちらも実践的な発表であった。

午後の部 田島先生は、オーラルイントロダクションの組み立て方について、理論と実践に基づいて説明した。日頃行っている活動について、改めて考えることができた。

参加者：64名



研究部報告

夏休み語り指導ワークショップ

第一回

実施日 : 平成27年7月29日(水)
世田谷区立三宿中学校

参加者数 : 65名

講師及び内容:

1. 坪田裕希教諭 (武蔵野市立第一中学校) 「教科書本文を生かした語り指導」
2. 上尾栄美子教諭 (江戸川区立篠崎第二中学校) 「中学2年・3年の教科書を使った語り指導・辞書指導」
3. 原田博子主任教諭 (文京区立第十中学校) 「技能を関連させて語りを増やす工夫」



第二回

実施日 : 平成27年8月3日(月) 千代田区立九段中等教育学校

参加者数 : 73名

講師及び内容:

1. 高杉達也教諭 (千代田区立九段中等教育学校) 「教科書の『リーディング』のページでどう語りを指導するか」
2. 島田朋美主任教諭 (荒川区立第四中学校) 「中3で行うpicture describing とword definition test」
3. 溪内 明主任教諭 (文京区立第八中学校) 「中学校入門期の語り指導」

第三回

実施日 : 平成27年8月19日(水) 品川区立荏原第六中学校

参加者数 : 61名

講師及び内容:

1. 江濱悦子主任教諭 (大田区立大森第四中学校) 「教科書を使って表現の幅を広げる事例: 中学2年生」
2. 壽原友理子教諭 (世田谷区立三宿中学校) 「教科書の指導を通して語りを広げる工夫」
3. 岡崎伸一指導教諭 (品川区立荏原第六中学校) 「リタラシー指導を含む語り指導～音から文字へ」

< 3回にわたる研修会の様子 >

研究部は今年度「生徒の語りサイズを広げる工夫」を研究テーマとして、研究を進めており、ワークショップでも研究部員がそのテーマに関して授業で実践していることを紹介させていただいた。先生方から学ぶ点が多く、有意義なワークショップになった。

調査部報告

都中英研調査部「夏期ワークショップ」

平成27年7月27日(月) 10:00~16:30

千代田区立九段中等教育学校 九段校舎1階会議室

東京外国語大学大学院教授 根岸雅史先生

玉川大学文学部准教授 工藤洋路先生

千代田区立九段中等教育学校 指導教諭 本多敏幸先生

根岸先生による講義…「『聞くこと』のテストづくり」

本多先生による実践例紹介…コミュニケーションテスト、

レコーディング

工藤先生より問題作成例紹介…リスニング問題考察

テスト作りワークショップ (Listening問題)

24名参加

参加者を5つのグループに分け、調査部員が進行を担当しながら持ち寄った問題について協議した。各グループ

からの報告について工藤先生、本多先生からアドバイスをいただき、参加者にとってはまたとない研修となった。



平成27年度 PT部夏季研修会

8月11日(火)、今年度も東京家政大学 教授 太田洋先生を講師として招聘し、PT部夏季研修会を行った。昨年度より「CAN-DO リストを活用した授業」をテーマとして研究しているが、PT部 CAN-DO リストの完成までには、さらなる研究の必要性を痛感した研修会でもあった。研修会の始めに短時間ではあったが、副部長の佐藤順一教諭から昨年度の実践報告を行った。その実践報告の内容を受け、太田洋先生から研修会のねらいにつなげる貴重な講義をしていただいた。CAN-DO リストが導入された背景、意義、活用の仕方等、ユーモアを交えた優れた話術で参加者を惹きつけていき、休憩無しでの二時間もの講義であったが、時間を忘れてしまうほどの有意義な時間となった。今回の研修会の参加者は 85 人であった。研修会後に参加者の方々から「CAN-DO リストについて多々の収穫があり、9月からの授業に生かせる。」等の声を聞くことができ、充実した研修会となったことを確信した。



各区市町村英語教育研究部 部長会・幹事会



恒例の標記の会合が、平成 27 年 8 月 28 日（金）に国分寺市立第二中学校にて開かれました。この会は、英語教育にかかわる今日的な課題を中心とした情報交換や研究協議を通して、都内各地区における公立中学校の英語教育の改善ならびに推進に資するのが目的です。

講演会は、講師として世田谷区立三宿中学校教諭の壽原友理子先生より「全英連・英検共催 夏季研修会報告」を行っていただきました。壽原先生からは、今年 7 月 22 日～24 日に英検会議室やオーストラリア大使館等を会場にして行われた研修についての報告があり、中味の濃い研修が展開された模様を知ることができました。

その後、中英研各部からの連絡に引き続き、各地区の活動状況についての情報交換、等があり、充実した会となりました。

お知らせ

都中英研では、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）で著名な*Facebook を利用しております。研修会等の最新のお知らせを提供できるばかりか、投稿が可能なので、利用者間相互のコミュニケーションも可能です。ご関心のある方はアカウントを取得して、下記 URL にアクセスしてみてください。

<https://www.facebook.com/tokyo.chueiken>

*Facebook はフェイスブック株式会社の登録商標です。

また、都中英研のホームページもぜひご活用ください。本誌「都中英研だより」や年報である「中英研会報」も閲覧が可能です。ホームページは下記 URL にアクセスしてください。

<http://www.chueiken-tokyo.org/>

編集後記

「都中英研だより 第 69 号」をお送りいたします。例年 2 回発行して参りました「だより」ですが、諸般の事情により、今年度より年 1 回の発行となりました。今まで前期号に掲載していた内容は、都中英研ホームページに掲載しています。そして、夏季休業日の間に実施されている各部の研修会の状況を主に報告させていただきよう、2 学期中の発行といたしました。なお、これとは別に、年度末には会報を例年通りお送りします。

配布に関しましては、変わらず 1 校につき 2 枚配らせていただいておりますので、ご了承ください。

本誌に関するお問い合わせ先 >>>>

都中英研出版部長 池田 武男（杉並区立高井戸中学校長）
TEL : 03-3302-1962 FAX : 03-3302-6873
MAIL : IKEDA-TAKEO@city.suginami.lg.jp